別添

「駐車禁止除外指定車標章」使用上の留意事項

1　駐車禁止除外指定車標章（以下「標章」といいます。）は、公安委員会による駐車禁止規制及び時間制限駐車区間規制が行われている道路の部分で使用することができます。

ただし、歩行困難者等の標章の場合は、バス専用レーン時間帯に駐車できません。

よって、次のような駐車は違反となります。

(1)　駐停車禁止場所の駐車（道交法第 44 条第１項及び同法第 75 条の８）

(2)　法定駐車禁止場所の駐車（道交法第 45 条第１項各号及び第２項）

(3)　駐車の方法に従わない駐車（道交法第 47 条）

(4)　車庫代わり駐車（自動車の保管場所の確保等に関する法律第 11 条第１項）

(5)　長時間駐車（自動車の保管場所の確保等に関する法律第 11 条第２項）

※　(1)から(3)については別紙「駐車許可証等を掲出しても駐車することができない場所等」を参照してください。

2　標章の交付を受けた方（法人等を含む。）が、標章の表面記載の使用用務に使用中の場合のみ使用できます。

また、歩行困難者等の方以外は表面記載の車両以外は使用できません。

3　標章を他人に譲渡、又は貸与することはできません。

ただし、歩行困難者等の方が他人の介助を受けて車両に乗降するため、介助者に標章を受け渡しするため必要最小限度の時間、貸与する場合は除きます。

4　標章を使用する場合は、連絡先・用務先を読みやすく記載した紙とともに、車両の前面のダッシュボード上の外から見やすい箇所に掲示してください。

この場合、連絡先・用務先を記載した紙は、大きさ、様式等は問いませんが、車外から確実に判読できるように記載、掲示してください。

なお、例示としては別紙「記載例」のとおりです。

5　標章を使用して駐車中に、警察官から指示があった場合には、その指示に従ってください。

6　標章の使用に際して、前記１から５の事項を遵守しない場合には、公安委員会から標章の返納を命ぜられることがあります。

7　次の場合は、公安委員会に速やかに返納してください。

(1) 有効期限を経過したとき。

(2) 標章の交付を受けた理由がなくなったとき。

(3) 再交付を受けた後において、亡失した標章を発見したとき(発見した標章)。

(4) 公安委員会から返納を命ぜられたとき。

8　標章の更新手続きは、有効期限が満了する１月前から有効期限までの間に手続きを行ってください。

ただし、歩行困難者等の方の標章については、有効期限(誕生日の１月後)が満了する２月前から有効期限までの間に手続きを行ってください。

9　標章を滅失し、亡失し又はき損したときは、除外標章再交付申請書により、住所地を管轄する警察署長に再交付の申請を行ってください。

10　標章の記載事項に変更が生じたときは、速やかに除外標章記載事項変更届により住所地を管轄する警察署長に届出を行ってください。

11　標章を返納するときは、駐車禁止除外指定車標章返納届によりいずれかの警察署に返納を行ってください。

12　標章はラミネート加工等しないでください。（有効期限延長や記載事項変更する際に必要事項を手書きします）

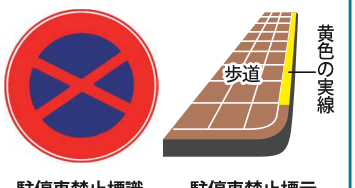
駐車許可証等を掲出しても駐車することができない場所等

駐車許可証や駐車除外標章を掲出していても、以下のような場所又は方法では駐車できませんので、注意してください。

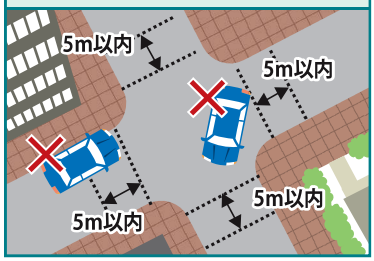
●停車及び駐車を禁止する場所（道路交通法第 44 条関係）

※道路標識等により駐車することができることとされている場合を除く

駐停車禁止の標識や標示のある場所



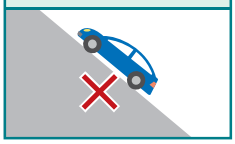
交差点とその端から５メートル以内の場所



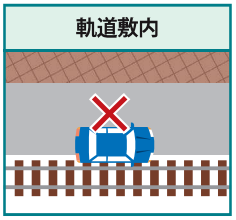
トンネル

坂の頂上付近

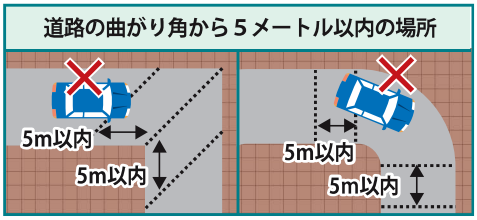
勾配の急な坂



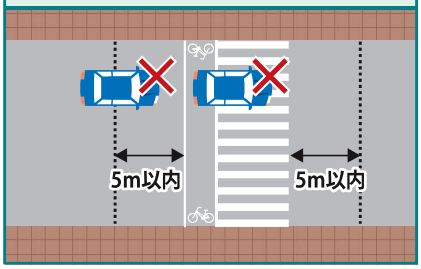
軌道敷内



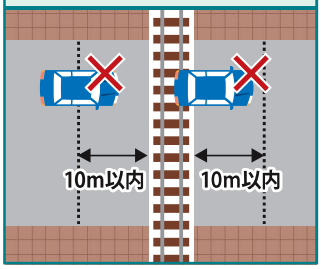
道路の曲がり角から５メートル以内の場所



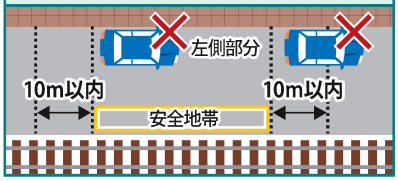
横断歩道、自転車横断帯とその端から前後に５メートル以内の場所



踏切とその端から前後 10 メートル以内の場所

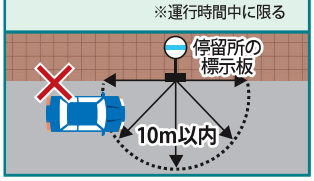


安全地帯の左側とその前後 10 メートル以内の場所



バス、路面電車の停留所の標示板から 10 メートル以内の場所

※運行時間中に限る

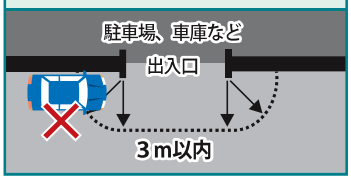


※これらの場所のほか、パーキングエリア等を除いて高速自動車国道及び自動車専用道路も駐停車禁止です（道路交通法第 75 条の８）。

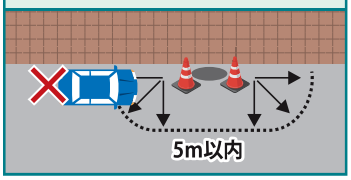
●駐車を禁止する場所（道路交通法第 45 条関係）

※道路標識等により駐車をすることができることとされている場合を除く

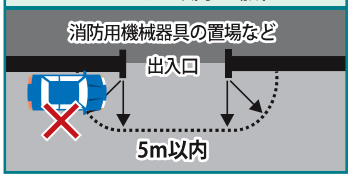
駐車場、車庫などの自動車用の出入口から３メートル以内の場所



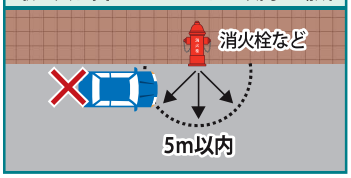
道路工事の区域の端から５メートル以内の場所



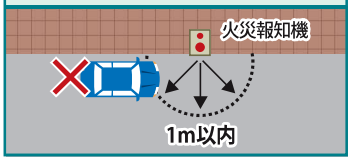
消防用機械器具の置場、消防用防火水槽、これらの道路に接する出入口から５メートル以内の場所



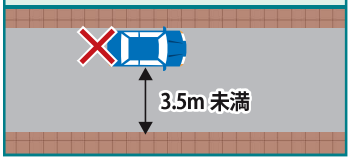
消火栓、指定消防水利の標識が設けられている位置や消防用防火水槽の取り入れ口から５メートル以内の場所



火災報知機から１メートル以内の場所



駐車した場合、車の右側の道路上に 3.5 メートル以上の余地がなくなる場所



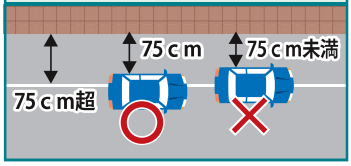
●停車又は駐車の方法（道路交通法第 47 条関係）

※道路標識等により駐車をすることができることとされている場合を除く

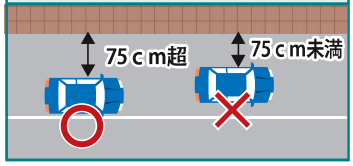
歩道や路側帯のない道路では、道路の左端に沿い、歩道や路側帯のある一般道路では、車道の左端に沿って駐車すること（歩道上駐車、右側駐車、斜め駐車は違反）

幅 75 センチ以下の路側帯、駐停車禁止路側帯（実線と破線）、歩行者用路側帯（実線２本）には駐車しないこと

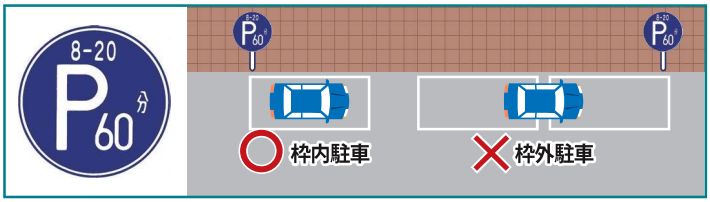
幅 75 センチを超える路側帯に駐車するときは、車両の左側に 75 センチの余地をあけること



路側帯に車両の全部が入っても、まだその左側に 75 センチを超える余地がある場合は路側帯に沿うこと



●時間制限駐車区間における駐車の方法（道路交通法第 49 条の３関係）

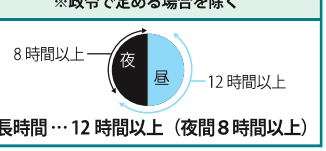


●自動車の保管場所について（保管場所法第 11 条関係）

保管場所としての道路使用の禁止

長時間駐車の禁止

※政令で定める場合を除く



長時間…12 時間以上（夜間８時間以上）

警察庁・都道府県警察

別紙「記載例」

（記載例）

行　先　　緊急往診に行っています。

連絡先　　携帯電話　　□□□－△△△△

行　先　　放置車両の確認事務のため付近にいます。

連絡先　　会社電話　　□□□－△△△△
携帯電話　　□□□－△△△△

行　先　　○○病院内科に行きます。

連絡先　　○○病院　　□□□－△△△△
携帯電話　　□□□－△△△△